麻帆良に輝く光さす道

Ｊ・フロスト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
麻帆良に輝く光さす道

【Ｎコード】
Ｎ２８２８Ｚ

【作者名】
Ｊ・フロスト

【あらすじ】
不動遊星がネオドミノシティをイリアステルから守り数日、平和な日々を過ごしていた。しかしある事件からネオドミノシティを守ろうとし、赤き龍の痣が光ったその先の光景は、見たこともない世界でありその場所は麻帆良といった……
そしてその世界では魔法が実在し遊星は３－Ａの担任補佐として戦いに巻き込まれていく……

＊　この小説は遊戯王５Ｄ，ｓと魔法先生ネギま！！のクロスオー

バー小説です、
完結まで応援してくれるととてもうれしいです。

第一話　謎の旧モーメント襲撃者（前書き）

まだネオドミノシティ編です
ネギま！！世界へはまだいけませんのであしからず。
何話辺りで行けるだろうか……

第一話　謎の旧モーメント襲撃者

視点　遊星

イリアステルとの……ＺＯＮＥ（ゾーン）との決闘（デュエル）が終わり数日
ジャック、クロウ、アキ、龍亞、龍可ら仲間らと共にネオドミノシティは現在平和な時を過ごしている。
俺も同じくＤ－ホイールを調整しながらこの平和な今をとても楽しんでいる。

ジャックは今カップヌードルを食べていてクロウは今配達に行っている
平日の昼間だからアキ達は今デュエルアカデミアにいるのかな？

「うむ、やはりピリ辛レットデーモンズヌードルは違うな！！　コクがある！！」

……はぁ、ずっとこの平和な時間が続けばいいんだが……
そのためにも俺はＺＯＮＥ（ゾーン）との約束を守らないとな
破滅の未来なんか起こさせないためにも！！

『ｔｒｕｕｕｕ……　ｔｒｕｕｕｕｕｕ……』

ん、電話か……　誰からだ？

「ふん、電話か……　遊星、俺が出る　ちょうどカップラーメンを食べ終わったところだからな」

「ああ、頼むぞジャック、もしネオドミノシティを救った英雄を取材させてほしいとかだったら断っといてくれ」

「ああ、もしもし、ん？　なんだ、牛尾か、何？　遊星！！　Ｄ－ホイールの牛尾との通信回線をＯＮにしろ！
セキュリティからだ　何かやっかいな事がおこったらしい」

「牛尾が？　わかった、すぐにつなげる」

『ん？　おお！！　つながった　Ｄ－ホイールの改造をするために通信を切ってたのか？　まったくよぉ　いつもお前は……』

「それで何の用だ？　わざわざ電話までするということはよほどの事でも起きたということか？」

『ああ、そうだ。　一つ聞くがそっちはお前とジャックだけなのか？』

「ああ、クロウもアキも今は外だが……　それがどうかしたのか？」

『なら連絡を取ってすぐこっちに来るよう伝えてくれ、できれば龍亜と龍可ちゃんにもだ、大至急にな。　ダークシグナーが復活したかもしれない』

「なんだと！！　どういうことだ！！　そっちは今どこにいる！！」

さすがに話の途中で割り込むのはどうかと思うぞジャック……
確かに驚くべきことだったが……

『そいつは今、旧モーメントにいて、部下には下手に手出ししない

よう伝えてある　なんせ……いや、これはこっちに来た時に話そう』

「わかった、できるだけ早く行くからまってろ！！」

……さて、すぐに準備に取り掛かるか。

「遊星！！　受け取れ！！」

俺に決闘盤（デュエルディスク）を投げ渡すジャック、それをDーホイールにセットし、風を切り、俺たちは走り出す！！

ダークシグナーとの戦いにネオドミノシティの一般の人たちをまきこむわけにはいかない！！

しかし旧モーメントに着く前にクロウやアキ達に連絡を入れないとなアキ達は今授業だから……クロウだな。

『ん？　おっ！遊星！　なんだ？　こっちは早くに配達が終わったからそっちに戻ってメシにしようとしてたのによぉ』

「クロウ、今どこらを走っている？」

『どこいらって言われても……えーと、そうだな……デュエルアカデミアの近くっていえばわかりやすいか？　そういやまだアーククレイドルでの影響でまだごたごたしてるから今日は午前授業だって龍亜が昨日言ってたような……　あいつらを乗せてそっちに向かおうか？

場所を聞いてくるってことはなんか厄介な事でも起きたんだろ？』

「いや！！　クロウ、三人を連れて今すぐ旧モーメントに来てくれ」

『どうした？　遊星？　なんか妙にあせっているじゃねえか』

「牛尾から連絡があってな、ダークシグナーが復活したかもしれないと言っていた……」

『なんだってぇ！！　一大事じゃねぇか！！　そいつは今旧モーメントにいるのか？　もしまたゼロ・リバースを引き起こされでもしたら……』

「ああ、せっかくイリアステルから守った俺達の町が破滅へと向かうそれだけはなんとしてでも阻止しなければならない！！」

「俺とジャックは先に旧モーメントに向かう、クロウ、アキ達を連れて早く来てくれ！」

『遊星……無茶すんじゃねぇぞ』

「わかっているさ」

そう言っているが冷静でいられるかというのも難しい話だな

さて、あと１０分もこのスピードで走ったら旧モーメントか……

……

……

……

一一旧モーメントーー

旧モーメントの近くまで来た俺達はセキュリティと合流するとまず

牛尾を探そうとした。
しかし……

「うう……」　「痛ぇよぉ…」

「セキュリティの中の負傷者の数が多いな……」

ジャックが言う通り確かにセキュリティの中にけが人が多数いる
地縛神が召喚されたならば魂が奪われているはずだが……
けがをしているというのはどういうことだ？

「遊星！　来たか！！　まずはこっちに来てくれ」

牛尾に言われるがまま人がいない場所まで俺とジャックを連れて行くと牛尾は申し訳ないという気持ちを込めているかのように話し始めた。
何が起きたというんだ？

「実は……お前たちに連絡を入れる前にセキュリティの中でも血の気が多い奴らが突撃を俺に黙って行いやがってな……
結果は……見たとおりのありさまだ、しかし…俺があいつらを止めるときにおれはダークシグナーらしきやつを見てな……」

「特徴は？　ダークシグナーらしいということは…」

「黒いフード付きのコートを着ててな、ところどころに紫色のマーカーみたいな線が入っていて
……きわめつけに、右手に紫色に光る痣があった」

「ほとんどダークシグナーが着ていた服装にそっくりだな。

しかしなぜだ？　地縛神はすべて俺たちの手で倒され、封印、もしくは消滅したはずなのだぞ？」

ジャックの言うとおりだ、地縛神はすべて倒したはずなのだが……
それになぜセキュリティの人たちは怪我まで……
確かにダークシグナーとの決闘（デュエル）はダメージを現実のものとなったりしたが
地縛神が出現したときや俺たちシグナーとの決闘（デュエル）だけのはず　……と思う

「それを俺に言われても困るぜ…　それに向こうはデュエルモンスターズのカードを実体化させたりもしたんだ。
俺たちセキュリティが勝てる相手じゃねえんだよ」

「なに！　カードの実体化だと！
ということはまさかサイコデュエリストか？
それならそいつの目的がなおさらわからなくなるんだが……」

「そもそもそいつはなぜこの旧モーメントに来たのだ？
たしかここはセキュリティの保護管轄下にあり、かなりの警備がいたはずだ
それを覚悟で来ているということは、よほどの目的があるのだろうな」

確かに……そいつの目的はなんなんだ？
思い過ごしとは思いたいが、嫌な予感がする……

第一話　謎の旧モーメント襲撃者（後書き）

えーと時系列は遊星がアーククレイドルを止めてその数日後ということです。

ジャックはまだ武者修行に行っていないと考えてください。

不定期ですので次はいつ更新できるかまではわかりません。
プロットも中途半端にしかつくっていません。

ちなみに旧モーメントの警備だとかは独自設定です。
「」『』の違いは通信で聞こえる機械的な声としての違いをあらわしただけです。

感想やメッセージを心から待っています！！

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n2828z/

麻帆良に輝く光さす道

2011年12月9日23時52分発行